

# 京大広報

No. 434

京都大学広報委員会



昭和11年当時の本学正門前通り

## 目 次

### <大学の動き>

- 総合人間学部の設置……………364
- 井村総長、フランス共和国訪問……………364
- 部局長の交替等……………364
- 平成4年度文学部博物館  
秋季企画展の開催……………365

### <紹介>

- 教養部の43年……………366

### <随想>

- 教養部の四十余年  
名誉教授 阪倉篤義……………378

### <保健コーナー>

- アレルギー性鼻炎  
—特にダニの駆除について—……………379

### <資料>

- 国立大学教官等の待遇改善に関する  
国立大学協会の要望書……………380

### <コラム>

- 鯨の話  
農学部教授 岩井 保……………382

## &lt;大学の動き&gt;

## 総合人間学部の設置

平成4年10月1日、総合人間学部が設置された。これに伴って、昭和24年5月に、新制京都大学の分校として発足し、昭和38年に制度化された教養部は、平成5年3月31日廃止される。

総合人間学部の教育研究組織と入学定員は下記のとおりであり、大講座制がとられている。

本学部は、国際化が進み、科学技術が先端化する現代社会において、自然と人間の調和した発展の可能性を探究するために、専門諸科学の研究とその成果をもとにして、この調和の条件を探り、両者を総合的に把握することをめざしている。

総合人間学部では、主専攻に加えて、副専攻の制度を設ける。これは、各自の専門分野以外に、別の特定の分野を系統的に履修する制度である。これによって、専門以外の分野についての知識も深め、より総合的な見識の涵養を促す高度一般教育の実現をめざす。

本学部が全学共通科目の主要な部分を提供する全学共通科目は、各学部において実施される4年一貫教育の基盤となる科目で、他学部、研究所、センターからも新しい授業科目が提供される。これによって、全学共通科目は、これまでの一般教育よりもその内容が多様化、高度化され、さらに、今日の問題についての先駆的アプローチに接する機会を提供するとともに、「知」に対する新鮮な関心を引き起こすことが期待される。

学 科	講 座	入 学 定 員
人 間 学 科	人 間 基 礎 論 講 座 生 活 空 間 論 講 座	20 名
国 際 文 化 学 科	文 化 構 造 論 講 座 文 明 論 講 座 日 本 ・ 中 国 文 化 ・ 社 会 論 講 座 欧 米 文 化 ・ 社 会 論 講 座	50 名
基 礎 科 学 科	数 理 基 礎 論 講 座 情 報 科 学 論 講 座 自 然 構 造 基 礎 論 講 座	30 名
自 然 環 境 学 科	物 質 環 境 論 講 座 生 物 ・ 地 球 圏 環 境 論 講 座 環 境 適 応 論 講 座	30 名

(総合人間学部)

## 井村総長、フランス共和国訪問

井村総長は、8月28日から、国際内分泌学会及び医学顧問会議出席並びにルイ・パスツール大学との学術交流に関する打合せ等のため、フランス共和国へ出張し、9月13日帰国した。

国際内分泌学会等においては、関係教官等との交流を通じ、医学分野における高等教育、学術研究の現状、課題等について意見を交換した。また、ルイ・パスツール大学シュミット学長等と、同大学と締結した「学術交流に関する一般的覚書」をうけた今後の学術交流について、意見を

交換した。

さらに、フランス科学研究庁(CNRS)を訪問し、クリルスキー長官等と同国における最近の学術研究状況全般及び今後の学術研究の推進の在り方について懇談した。

## 部局長の交替等

## 総合人間学部長

木下富雄総合人間学部教授(情報科学論講座担当)が10月1日総合人間学部長に任命された。任期は平成5年3月31日までである。

## 平成4年度京都大学文学部博物館 秋季企画展の開催

本学文学部博物館では、下記のとおり秋季企画展「古文書の魅力」を開催いたします。本学の教職員・学生は無料です（職員証又は学生証等を呈示）。

記

期 間 10月20日(火)～12月12日(土)

開館時間 火曜日～土曜日 9:30～16:30

(入館は閉館30分前まで、日・月・祝日は休館)

場 所 博物館 企画・総合展示室(1F・2F)

展示内容

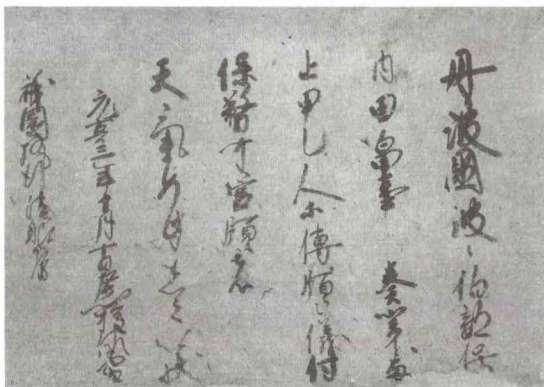
### 企画展「古文書の魅力」

古文書には限りない魅力が秘められております。文字がさほど読み取れないとしても、紙の使い方、文字の書き方などに古人の生き方や知恵が感じられ、遙かな過去に思いをさせることができるでしょう。しかし、一方で古文書は重要な学術資料でもあります。近代歴史学とともに発達した古文書学は、さまざまな側面から古文書に光をあて、その歴史の意味を明らかにしてきました。こうした古文書学の成果を踏まえ、また内容をしっかりと把握できれば、古文書はその魅力をいよいよ増すに違いありません。

今回の企画展示は、「古文書の魅力」をテーマに、三つの小テーマを設けました。「歴史資料としての古文書」では素材や作成・伝達方法などから“ものとしての古文書”の諸側面をさぐり、「日本の古文書」では朝廷・武家・寺社など、発給者別に古文書の様式や歴史の意味を考えます。また「東アジアの古文書」として、近世琉球、唐代中国、李氏朝鮮の文書を展示し、日本の古文書との比較を行います。それぞれの文書には解説と読み本をつけ、内容が読み取れるよう意を払いました。

この展示によって古文書に対する理解を深め、その魅力を味わっていただくことを期待します。

なお、1階総合展示室では考古常設展示「日本古代文化の展開と東アジア」を行っています。



後醍醐天皇綸旨

丹波国波々伯部保を祇園社感神院領として安堵した文書。

(文学部)



## &lt;紹介&gt;

## 教養部の43年

教養部は平成4年度をもって、43年にわたる歴史の幕を閉じることとなった。この時点で、約半世紀を振り返り、教養部の歴史を簡単に紹介することにした。

戦後の大幅な学制改革により、昭和22年(1947)には学校教育法が制定され、六・三・三・四の新学制となり、昭和24年(1949)から新学制に基づく新制大学が発足することになった。ドイツの高等教育制度を手本とした旧制高等学校・大学とは異なり、占領軍の命令によってアメリカ式教育制度を導入した新制大学では、専門科目のほかに一般教養科目を前期2年に置くことになった。一般教養科目は広い視野に立って物事を総合的に判断する見識や、豊かな情操を具備した社会人を養成するものとしてとくに重視された。京都大学では第三高等学校の協力を得て三高校舎を使って一般教養教育を実施することとした。昭和24年5月の国立学校設置法で三高は新制京大に包括されることになり、一般教養科目を実施するために分校が設置された。同年7月に新制大学としての最初の入学式が行われ、9月8日から正式に開校された。当時、1,529名の新制第1期生のほか、三高3年生が分校内に残っており、後者は三高本館(現A号館東半部)で、前者はそれ以外の旧三高校舎で授業を受けた。翌昭和25年に最後の三高生が卒業して三高は解散されたが、新制第2期生を迎えた場合、旧三高校舎のみでは到底収容し切れないことは明らかであった。そこで京都府宇治郡東宇治町五ヶ庄(現宇治市五ヶ庄)の旧陸軍火薬廠の内、23,882坪(78,811㎡)と建物(火薬製造工場及び火薬貯蔵庫)を借用して整備し、昭和25年(1950)に宇治分校が開設され、1回生は宇治分校、2回生は吉田分校で授業を受けることになった。教育・研究の両面できわめて不都合なこのような状態が以後11年も続くことになる。昭和32年(1957)、宇治分校廃止と吉田分校への統合が文部省に認められた。これ以後、吉田分校の増築整備が進められ、昭和36年(1961)にようやく統合が完了した。この時期の増築は、昭和34年(1959)のA号館西半分(2,092㎡)、昭和36年

(1961)のD号館(4,950㎡)である。

ところで、分校という名称は、本来は敷地及び建物の所在に対するもので、性格の判然としないものであった。昭和29年(1954)に学内措置によって分校は教養部と改称されたものの、官制上は依然として分校であった。教養部として正式に制度化されるのは、昭和38年(1963)の国立学校設置法の一部改正を待たねばならなかった。

昭和30年代のいわゆる高度成長期には、理工系を中心に大幅な学生定員増がなされ、教養部構内の施設の拡充が急務となった。そのために旧三高時代の古い校舎等が次々と撤去されて、新しい建物がたてられた。昭和38年(1963)のE号館(3,924㎡)、昭和40年(1965)のF号館(2,340㎡)、昭和41年(1966)のA号館東棟(1,610㎡)、昭和43年(1968)のA号館西棟(4,272㎡)、昭和46年(1971)のA号館南棟(2,388㎡)、昭和51年(1976)のA号館東南棟(2,380㎡)、昭和62年(1987)のA号館東棟南半分(1,636㎡)である。また蔵書の増加と建物の老朽化に伴い、昭和48年(1973)には図書館も新築された(4,365㎡)。ちなみに蔵書数は、昭和24年(1949)の分校設置時に三高の蔵書約8万冊を引き継いで以来、平成4年(1992)で約52万冊に達している。

京都大学教養部は官制上平成4年9月30日をもって廃止された。

43年間の学生数の推移は別表のとおりである。平成4年度(1992)の入学者は2,904名で、新制大学発足時の1,529名に比べてほぼ倍増しており、平成5年度からはさらに総合人間学部の学生130名が新たに加わることになる。

(教養部)

## 付表・付図

- 1 教官・非常勤教官・事務官数
- 2 年度別入学者数
- 3 大正中期第三高等学校建物配置図
- 4 昭和30年宇治分校・吉田分校建物配置図
- 5 昭和40年教養部建物配置図
- 6 昭和50年教養部建物配置図
- 7 昭和60年教養部建物配置図
- 8 平成4年教養部建物配置図

## 1 教官・非常勤教官・事務官数

年 度	教 授	助教授	講 師	助 手	教官計	学 内 非常勤	学 外 非常勤	非常勤計	事務官 技 官
S. 24	17	28	4	5	54	4	134	138	45
25	28	46	11	5	90	14	110	215	125
26	39	48	12	15	114	27	98	162	113
27	39	50	14	17	120	59	42	155	111
28	39	48	14	17	118	36	48	138	115
29	40	47	17	16	120	45	43	123	119
30	41	49	14	16	120	48	58	142	113
31	42	53	10	16	121	59	41	135	112
32	41	56	10	16	123	62	43	144	110
33	42	59	10	14	125	65	48	157	108
34	40	60	10	12	122	75	50	175	112
35	44	65	14	14	137	64	51	172	109
36	43	70	14	14	141	69	55	184	108
37	49	78	10	14	151	80	55	211	106
38	53	79	10	14	156	90	70	232	108
39	58	81	11	14	164	100	60	246	110
40	64	84	8	14	170	115	60	227	112
41	66	90	5	14	175	131	56	241	112
42	71	89	5	14	179	167	162	329	112
43	71	94	4	14	183	180	173	353	110
44	70	95	3	14	182	172	174	346	109
45	70	99	2	13	184	137	187	324	109
46	73	98	1	18	190	130	184	314	103
47	71	102	1	21	195	126	194	320	100
48	76	97	2	23	198	128	223	351	97
49	75	98	1	22	196	113	247	360	97
50	76	96	1	22	195	103	249	352	97
51	73	103	2	25	203	102	248	350	96
52	74	101	2	24	201	112	252	364	95
53	76	101	2	24	203	102	257	359	96
54	77	100	1	24	201	109	264	373	96
55	74	102		23	199	110	252	362	94
56	78	98		25	201	101	267	368	92
57	76	99		25	200	105	270	375	91
58	80	99		23	202	97	258	355	90
59	81	100		25	206	109	269	378	88
60	82	98		25	205	113	247	360	85
61	83	101		25	209	111	267	378	86
62	85	102		24	211	128	276	404	85
63	89	105		23	217	110	275	385	82
H. 1	89	104		25	218	124	265	389	81
2	87	102		25	214	121	280	401	79
3	89	107		23	219	122	290	412	80
4	89	104		23	216	121	291	412	78

(注) 昭和24～41年の非常勤合計数には、理系の実験及び体育実技の指導補佐員を含む。

## 2 年度別入学者数

年度	学部											内 外 の 動 き
	文学部	教育 学部	法学部	経済 学部	理学部	医 学 部		薬学部	工学部	農学部	合 計	
						医 進	薬学科					
S. 24	226 ( 1)	15	259	208	180 ( 2)		61		380	200	1,529 ( 3)	国立学校設置法公布
25	202 (15)	50 ( 2)	249 ( 2)	208 ( 2)	180 ( 2)		60 ( 1)		380	200	1,529 ( 24)	朝鮮戦争勃発
26	165 (16)	20 ( 1)	202 ( 8)	152 ( 2)	122 ( 4)		50 ( 7)		340	172 ( 5)	1,223 ( 43)	サンフランシスコ平和条約 日米安保条約調印
27	160 (20)	39 ( 1)	250 ( 1)	200	124 ( 3)		50 (12)		360 ( 1)	160 ( 2)	1,343 ( 40)	
28	164 (18)	38 ( 2)	252 ( 3)	200	102 ( 1)	52 (15)	41		355 ( 1)	151 ( 2)	1,355 ( 42)	学位規制公布
29	163 (21)	35 ( 3)	250 ( 2)	200	101 ( 3)	50 (15)	42		373 ( 3)	151 ( 2)	1,365 ( 49)	
30	119 (14)	42 ( 3)	253 ( 1)	199	113 ( 2)	50 (21)	40		385 ( 1)	150 ( 1)	1,351 ( 43)	アジア・アフリカ会議
31	121 (12)	42 ( 4)	250 ( 3)	200	110 ( 7)	56 (15)	40		385	153 ( 2)	1,357 ( 43)	日本, 国際連合に加盟
32	120 ( 8)	48 ( 2)	261 ( 2)	199 ( 1)	122 ( 4)	58 (19)	40		424	151	1,423 ( 38)	ソ連, 人工衛星打上げに 成功
33	120 (17)	50 ( 4)	274 ( 3)	200	122 ( 3)	56	40		471 ( 1)	151 ( 1)	1,484 (29)	
34	163 (24)	49 ( 7)	272 ( 1)	199	159 ( 2)	58 医 進	39 ( 4)		510	167 ( 1)	1,616 ( 39)	
35	165 (23)	51 ( 6)	272 ( 1)	200	172 ( 3)	56 ( 1)	38 ( 7)		617	172 ( 6)	1,743 (47)	新日米安保条約調印
36	197 (29)	48 ( 4)	271 ( 5)	198 ( 1)	171 (12)	56 ( 2)	78 (23)		761 ( 1)	177	1,957 ( 77)	
37	205 (46)	50 ( 7)	272 ( 3)	219 ( 1)	196 ( 8)	92 ( 2)	81 (30)		799	208 ( 2)	2,122 ( 89)	キューバ危機
38	201 (43)	50 (12)	271 ( 9)	220	230 ( 5)	83 ( 9)	80 (19)		829 ( 1)	203 ( 4)	2,167 (102)	
39	202 (31)	49 ( 4)	271 ( 5)	219	258 ( 8)	82 ( 6)	80 (24)		868 ( 1)	209 ( 3)	2,238 ( 82)	東海道新幹線開通 オリンピック東京大会
40	203 (35)	50 (12)	271 ( 4)	220 ( 1)	255 ( 9)	110 ( 6)	82 (31)		883 ( 1)	238 ( 9)	2,312 (108)	アメリカ, ベトナム北爆
41	201 (39)	50 ( 7)	337 ( 9)	220 ( 1)	259 (12)	111 ( 9)	81 (35)		909	244 (12)	2,412 (123)	中国, 文化大革命
42	204 (47)	51 (12)	334 ( 9)	220 ( 1)	291 ( 8)	105 ( 6)	80 (32)		905 ( 3)	283 ( 7)	2,473 (125)	
43	203 (50)	51 ( 9)	336 (14)	220 ( 1)	282 ( 9)	105 (13)	81 (43)		925 ( 1)	298 (15)	2,501 (155)	学園紛争起こる
44	205 (36)	50 (12)	330 ( 2)	225 ( 3)	283 ( 5)	105 ( 7)	81 (38)		925 ( 2)	294 (18)	2,498 (123)	大学運営臨時措置法公布 アメリカ, アポロ11号月 面着陸
45	202 (38)	50 (11)	338 (15)	220 ( 2)	279 ( 6)	101 ( 4)	80 (32)		945 ( 2)	299 (25)	2,514 (135)	日本万国博覧会



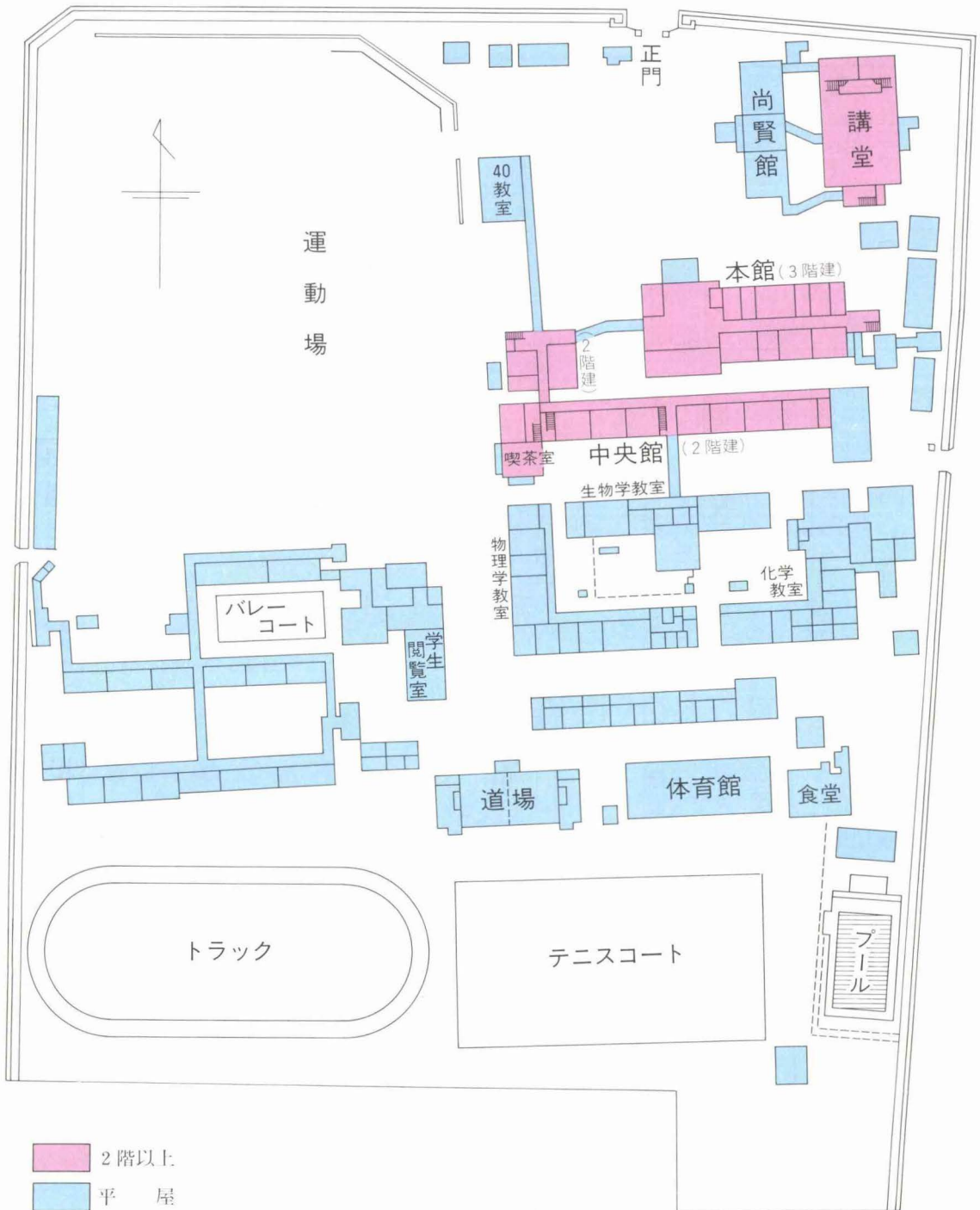
学部 年度	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	薬学部	工学部	農学部	合計	内外の動き
46	202 (39)	50 (17)	333 (11)	200 (3)	281 (11)	101 (8)	77 (45)	945 (4)	295 (24)	2,484 (162)	ドル・ショック
47	201 (53)	50 (17)	333 (17)	202 (2)	281 (8)	100 (8)	76 (43)	945 (5)	293 (36)	2,481 (189)	沖縄の施政権返還 日中国交正常化
48	204 (46)	50 (13)	331 (13)	202 (4)	281 (11)	120 (7)	77 (50)	945 (6)	288 (37)	2,498 (187)	石油危機
49	200 (49)	51 (16)	330 (18)	200 (3)	281 (10)	120 (3)	80 (51)	945 (5)	300 (26)	2,507 (181)	
50	203 (54)	51 (21)	330 (18)	200 (6)	281 (13)	122 (7)	79 (46)	944 (6)	289 (27)	2,499 (198)	
51	205 (54)	50 (18)	336 (8)	202 (5)	281 (12)	120 (7)	80 (59)	945 (4)	289 (29)	2,508 (196)	ロッキード事件
52	200 (44)	51 (14)	329 (15)	201 (2)	281 (14)	121 (6)	80 (45)	944 (7)	291 (36)	2,498 (183)	大学入試センター発足
53	199 (50)	50 (11)	337 (17)	200 (2)	281 (11)	120 (5)	80 (45)	944 (10)	282 (37)	2,493 (188)	日中平和友好条約調印
54	201 (56)	50 (14)	329 (14)	202 (5)	281 (9)	121 (4)	80 (45)	944 (9)	296 (23)	2,504 (179)	国公立大学共通第一次学 力試験の実施 東京サミット開催
55	198 (57)	50 (15)	330 (16)	199 (4)	281 (16)	120 (9)	80 (38)	945 (11)	294 (38)	2,497 (204)	
56	200 (67)	50 (12)	333 (34)	201 (7)	281 (15)	121 (6)	80 (41)	944 (9)	295 (37)	2,505 (228)	
57	200 (65)	50 (12)	350 (33)	198 (11)	281 (18)	119 (6)	80 (34)	945 (15)	296 (35)	2,519 (229)	教科書記述につき中国・ 韓国から抗議
58	200 (46)	51 (7)	350 (40)	201 (11)	281 (20)	120 (6)	80 (32)	945 (16)	296 (45)	2,524 (223)	
59	200 (49)	50 (20)	350 (30)	208 (14)	281 (19)	119 (10)	80 (33)	945 (16)	292 (42)	2,525 (233)	臨時教育審議会発足
60	200 (58)	50 (21)	350 (49)	210 (13)	281 (24)	121 (12)	80 (29)	945 (24)	304 (38)	2,541 (268)	
61	200 (50)	60 (23)	400 (54)	230 (11)	291 (15)	120 (8)	80 (32)	995 (27)	314 (56)	2,690 (276)	ソ連, チェルノブイリ原 発事故
62	220 (64)	60 (22)	413 (69)	256 (8)	294 (10)	112 (9)	80 (44)	1,033 (18)	315 (54)	2,783 (298)	国公立大学受験機会の複 数化実施 ソ連, ベレストロイカ
63	232 (89)	66 (35)	426 (69)	279 (12)	306 (21)	124 (13)	95 (32)	1,078 (28)	336 (57)	2,942 (356)	リクルート事件
H. 1	225 (61)	67 (32)	415 (105)	251 (24)	306 (14)	124 (6)	92 (29)	1,031 (43)	339 (55)	2,850 (369)	消費税実施 中国, 天安門事件 中央教育審議会発足
2	222 (74)	68 (23)	405 (84)	260 (32)	306 (22)	99 (16)	89 (27)	1,041 (38)	333 (61)	2,823 (377)	大学入試に新テスト方式 採用, ドイツ統一
3	242 (90)	75 (38)	415 (56)	276 (18)	326 (21)	102 (7)	87 (28)	1,062 (31)	338 (75)	2,923 (364)	湾岸戦争
4	244 (90)	74 (33)	412 (72)	268 (22)	326 (16)	102 (12)	88 (34)	1,066 (38)	330 (90)	2,904 (407)	ソ連邦解体

(注) 昭和42年度以降は学生部入試掛の資料に拠る。括弧内は女子学生の内数。



大正中期 第三高等学校建物配置図





昭和30年 吉田分校建物配置図



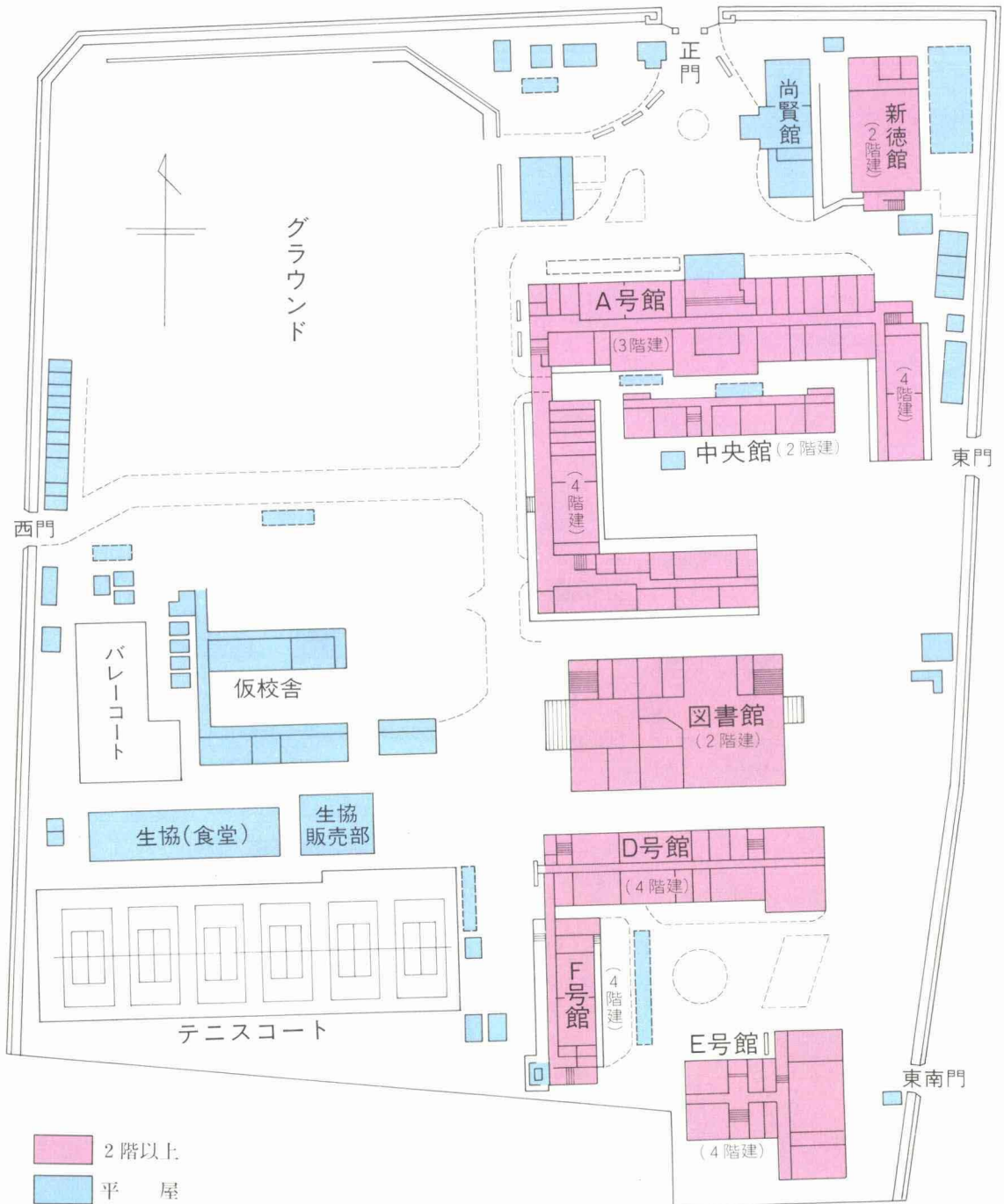
- |    |         |      |         |
|----|---------|------|---------|
| 数字 | 教室番号    | M    | 学生ボックス  |
| A  | 図学室     | N    | 売店      |
| B  | 大講義室    | O    | 食堂      |
| C  | 生物教室    | P    | 倉庫      |
| D  | 地学教室    | Q.26 | 体育教官室   |
| E  | 物理教室    | 42   | 学生控室(男) |
| F  | 化学教室    | ☒    | 貯水池     |
| G  | 事務室     | ●    | 便所      |
| H  | 部長室     | ☐    | 守衛室     |
| I  | 教官室     | —    | 掲示板     |
| J  | 図書室     | ☒    | 温室      |
| K  | 診療所     | ■    | 木材研究所建物 |
| L  | 学生控室(女) |      |         |

昭和30年 宇治分校建物配置図

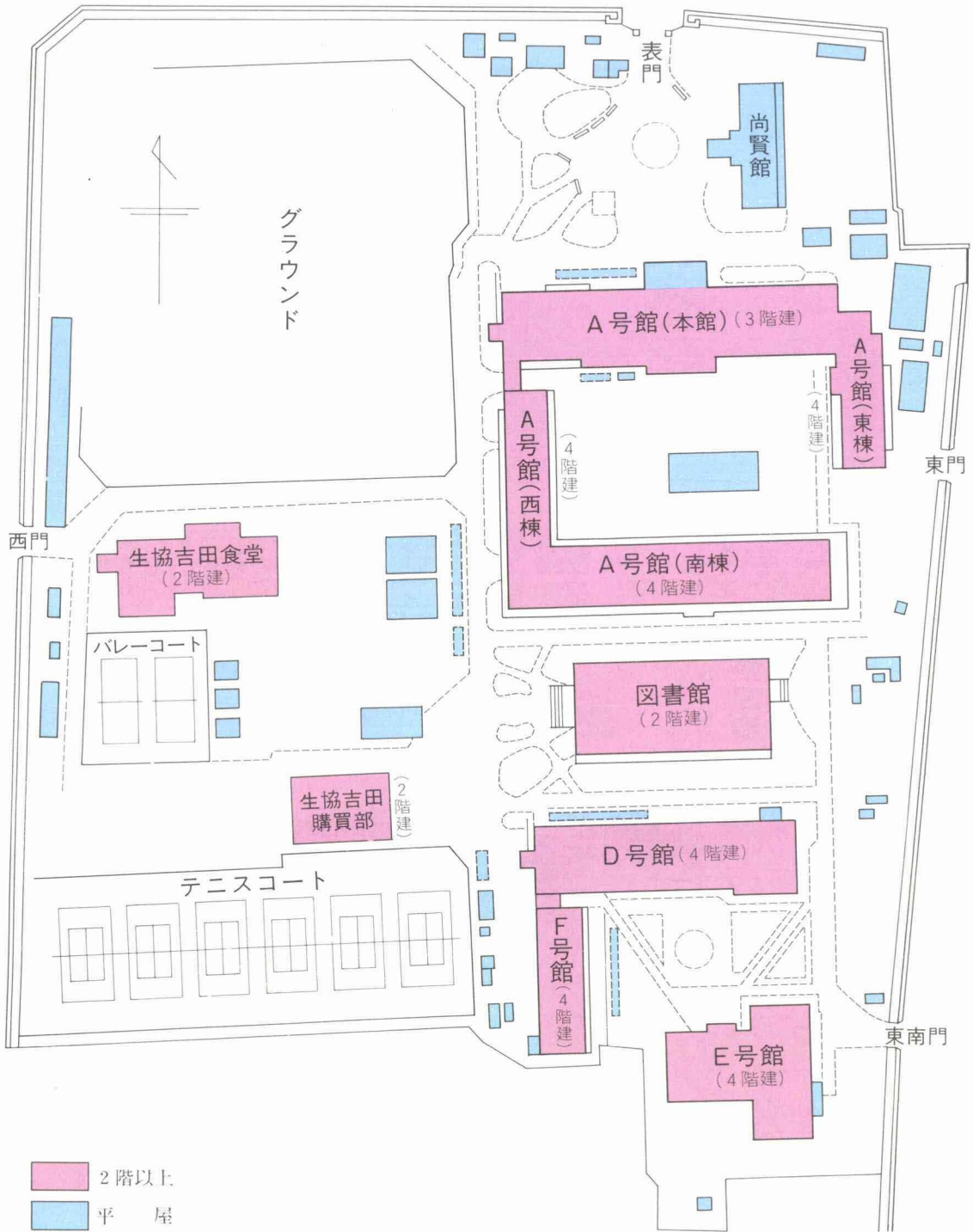


昭和40年 教養部建物配置図

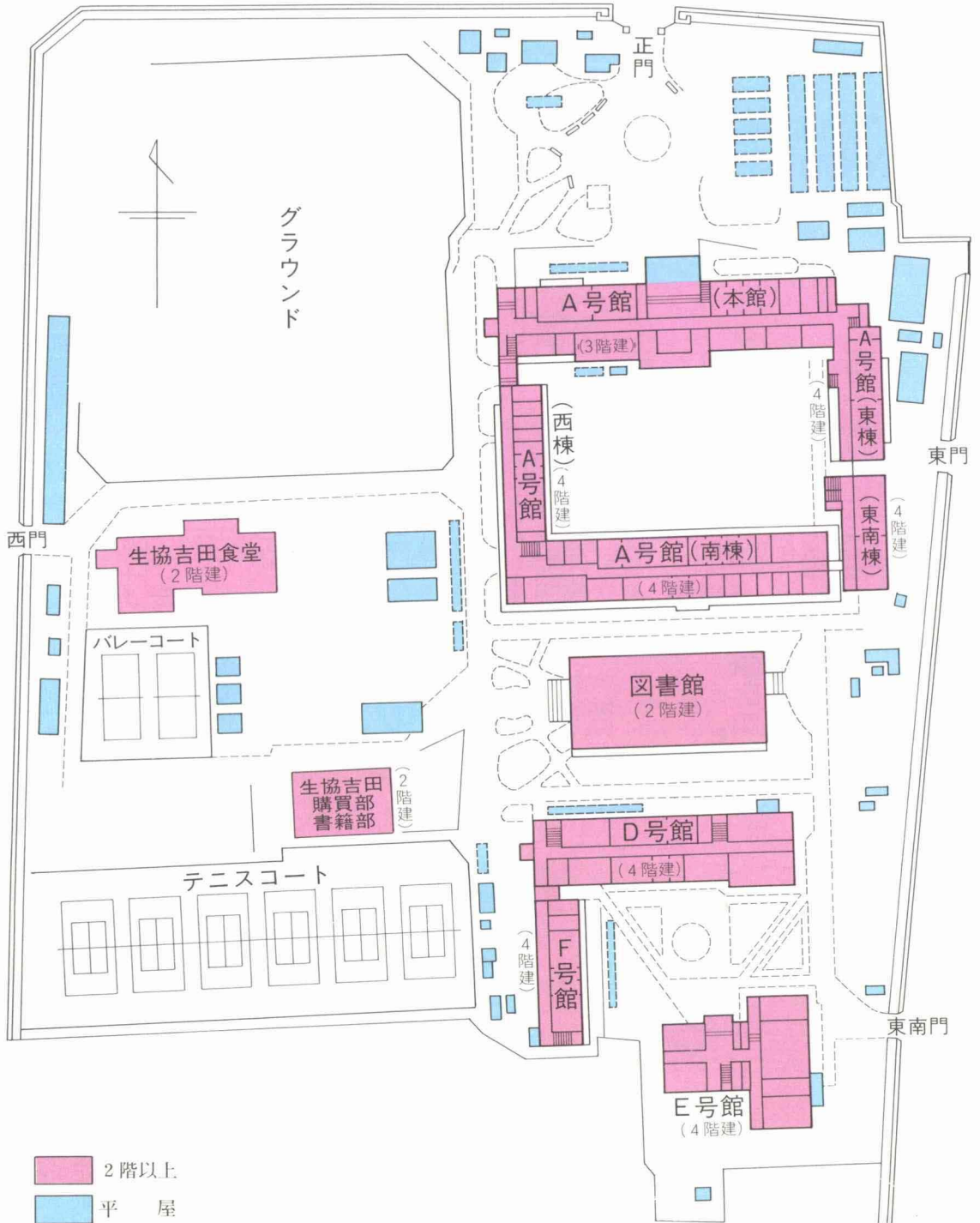




昭和50年 教養部建物配置図

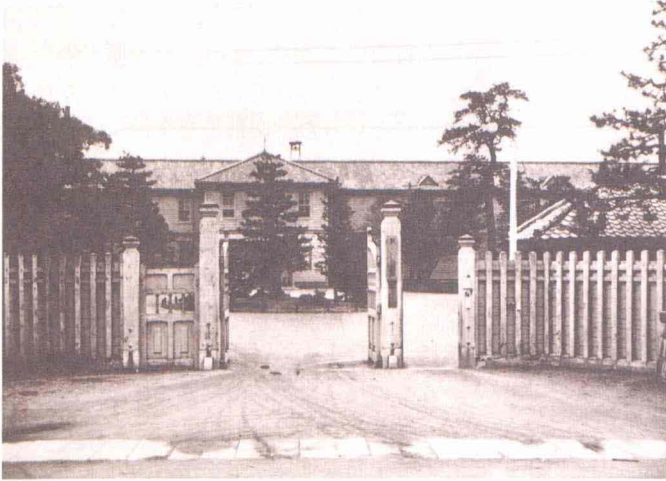


昭和60年 教養部建物配置図



平成4年 教養部建物配置図

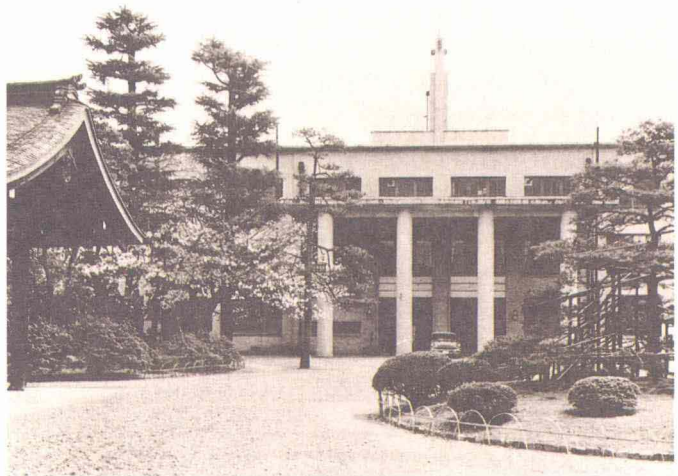




大正中期の旧第三高等学校正門・本館



昭和11年に竣工した旧第三高等学校本館



昭和40年頃の教養部本館・A号館







わけで、本当の意味で駆除した事にはならない。死骸、卵、糞などの除去が肝要である。

では実際にどのようにすればよいのか。日常生活でダニに最も接触するのは寝具である。まず布団、マット、毛布、ベッド板、枕に掃除機をかけ、ダニを吸引除去する。掃除機は排気口にダニ用のフィルターのついたものが市販されており、できればそのようなものが望ましい。最初は3日続けて行い、その後は2週に1回続ける。この方法で1㎡あたりに1,000匹以上いたのが、50匹以下になると報告されている。死骸、糞などはそれ以上に減少させることができ、症状は非常に改善する。さらに徹底する場合には、ダニ用の布団乾燥機を使い、シーツもダニを通さないものを用いるとよい。また、季節の変わり目に布団を収納するとき、新たに取り出すときも掃除機で掃除するべきである。押入の中に長く収納した布団には、ダニは何度も世代交代し死骸、脱皮した殻、糞などが相当たまるからである。

その他、じゅうたん、カーペットはできれば使用しないことが望ましいが、無理なら風通しを良くして掃除機をできるだけかける様にする。ぬいぐるみなども盲点になっていることがあり、その場合、布団と同じように処理する必要がある。

実際、言うは易し、行いは難しで、ダニの駆除は手間がかかるが、せめて布団に掃除機をかけるだけでもそれなりに価値がある。

保健診療所で、検査でダニが原因と分かった場合、投薬だけでなく、ダニの駆除も指導している。やはり服薬だけではなく、ダニの駆除を実行することでかなり効果がみられている。

夏休みが明け、学生が郷里から戻ってきた。アレルギー性鼻炎の者にとっては、押入に長く収納してあった布団をそのまま使うのは危険である。そこには大量のダニがいる。京都に戻ってから症状がひどくなった場合、まず、ダニが原因と考えられ、その駆除を試みてはいかがであろうか。

なお、ダニはアレルギー性鼻炎だけの原因ではなく、喘息やアトピー性皮膚炎など他のアレルギー疾患の原因にもなっており、それらの人にも上記の内容が参考になれば幸いである。

(保健診療所 高北 晋一)

## <資料>

### 国立大学教官等の待遇改善に関する 国立大学協会の要望書

国立大学協会第90回総会において、国立大学教官等の待遇改善に関する要望が決議され、下記要望書が文部大臣及び人事院総裁等に提出された。

平成4年7月8日

国立大学協会会長

有馬朗人

#### 国立大学教官等の待遇改善に関する要望書

国立大学教官等の給与等の待遇改善については、人事院をはじめ関係機関の特段の配慮を得て改善がなされてきたところであり、そのことについては、関係各位のご努力に対して深く感謝する次第であります。

いうまでもなく、近年、教育改革の問題が焦眉の国家的課題とされ、大学についても、教育・研究の充実整備が課題となっていることは周知の事実であります。この課題に応えるうえで、まず何よりも大学自身がその教育・研究体制の改革に取り組むことが必要であり、現在、多くの国立大学が自己点検・自己評価を計画・実施し、それを自らの大学の改革と活性化の契機とすべく努力しているところであります。

それとともに、大学の質的向上を図るには、その担い手である大学教官等に有為な人材を確保することが基本的前提条件であり、それを充たすためには大学教官等の待遇改善が一つの必須要件であります。

しかしながら、それはいまだ十分であるとは言い難い状況にありますので、さらに以下の諸点につき特段の措置を講ぜられますよう、ここに重ねて強く要望する次第であります。

#### 記

1. 教育職(一)の俸給水準の引上げを行う等を含め俸給体系を是正すること。

大学は高等教育および学術研究を推進・発展させる中心の存在として社会の付託に応じて、その任務を果たしている。科学技術の著しい進展と国際化の時代にあつて、その責務は益々増大しているところである。そのときにあつて、大学の教学の中心の担い手は大学教官であり、教育・研究について絶えざる情熱と高い能力を有する優れた人材を擁することは大学の根本であることに鑑み、その俸給をその職務と責任に見合う水準に引き上げるよう特段の配慮を強く要望する。特に近年、国立大学の教官の給与水準が民間企業研究

所や私立大学のそれを大幅に下回っている実態が人材確保の障害の要因ともなっていることに配慮しその急なる改善が待たれる。

また、あわせて助手について高校教諭の給与を下回る実態や教務職員の給与の頭打ち等の問題があり、これら職員の格差是正を図る。

なお、以上の俸給水準の引上げと同時に中堅教官について早期に最高号俸に到達するよう改善するとともに、現行の昇給延伸制度についても、教官の職の高度歴による高年令就職等による特殊性に着目してその年令の引上げを図る。

## 2. 大学教官特有な職務に見合う手当として「大学研究調整額」(仮称)を新設すること。

大学教官は、高度の専門教育を行うばかりでなく、進展極まりない学術の研究について一定の業績を常に要請される。そのため、各種学会活動や独自の情報の収集等多様な教育・研究活動を遂行することが必須となっている。

しかしながら、このような多様な教育・研究活動に際して、自費から支出する研究費が少なくないことが、当協会財政基盤調査研究委員会が行った全国調査結果により明らかになっている。

この特別な経費負担に対する措置として「大学研究調整額」(仮称)の新設を図る。

なお、職務の特殊性に基づきすでに支給されているものとして、義務教育教員には「教職調整額」、医療職(一)職員には「初任給調整手当」がある。

## 3. 教育・研究支援職員等の待遇の抜本的改善を図ること。

当国立大学協会は、かねてより大学特有の専門職である技術職員等の教育・研究支援職員の抜本的な待遇改善を要望し、新設された「専門行政職俸給表」の適用を切望してきたが、これら職員の現状が同俸給表を適用できる状況に置かれていないとして、その適用が見送られてきたところである。

大学における教育・研究支援職員の教育・研究に果たす役割は大きく、かつ、不可欠なものであり、俸給表の種類にかかわらず、これら職員の俸給をその職務と責任に見合う水準に引き上げるよう措置する。

当協会としても、教育・研究支援職員の在り方について、先に、各国立大学に対し、教室系技術職員の組織化および研修等についてその実現方を要請し、現在までに職員規模で相当数が組織化され、また、多くの大学において多様な研修が行なわれている。今後のこれらの整備の動向を踏まえて「専門行政職俸給表」への移行を早期かつ円滑に実現できるように努力されたい。

## 4. 部局長(副学長、学生部長、事務局長等を含む。)について指定職の完全適用を図ること。

部局長等は、その職務と責任からして指定職の適用を受けるのが当然の措置であるが、未だ定数が十分でないために、すべての部局長等が指定職の適用を受けているわけではない。

指定職制度は、特定の職務就任を条件に適用するのが本来の趣旨であることを踏まえ、部局長等については、その在任期間中はすべて指定職俸給表が適用できるよう措置する。

また、特に教育、研究の功績顕著な教授に対して指定職俸給表の適用を拡大する。

## 5. 管理職手当の適用対象の拡大と増額を図ること。

近年、大学における管理運営の職責が益々重くなりつつある実情に鑑み、全学段階の委員、学科主任等の学内教育行政の要職にある者について、管理職手当支給の途を開くように特に配慮する。

なお、部局長について指定職の完全適用を前項で要望しているところであるが、指定職が適用されるまでの間、その増額を図る。

## 6. 大学の中堅職員(事務系)の待遇改善を図ること。

大学においては、事務長、補佐、係長等の定数が固定化されており、豊富な職務経験、職務遂行能力を持つ適任者でありながら、昇任・昇格が限定されるために俸給の上で格差を生じている。このことは、大学の中堅職員等に職務遂行意欲を欠くこととなり、ひいては大学運営の業務に重大な影響を及ぼす結果となりかねない。

また、特に近年教育研究の国際化に伴う国際学術交流や留学生受入れ、大学院の整備充実、教育研究システムの多様化、複雑化への対応等高度の専門性を要する新たな業務が激増している。

よって、この際、専門職員制度を一層拡大するとともに上位の級別定数について特段の措置を図る。

## 7. 看護職員の待遇改善を図ること。

医学・医療の進展に寄与する診療、教育、研究の場であることを使命とする大学病院において看護職員に課せられた任務は極めて高度化、専門化しており、その役割は重要なものとなっている。

しかしながら、近年、特に看護職員に優れた人材を確保することが困難な状況となっている。

看護力の強化は、大学病院の運営にとって不可欠の課題であり、昨年に引き続き初任給を含む給与水準の引き上げを図る。

また、看護職員の勤務形態の特殊性等に配慮し、勤務環境の改善を図る。

